



青葉みらいづくり大学校 2023



青葉区 NPO 法人まちラボ



青葉みらいづくり大学校  
**2023**  
報告書

発行・編集：青葉区地域振興課地域力推進担当 NPO 法人まちラボ

発行年月：令和6年3月



企画・運営

**NPO 法人まちラボ**

NPO 法人まちラボは、学ぶ・楽しむ・きっかけづくり、集う・つながる・居場所づくり、助け合う・あたたかな関係づくり、誰もがまちづくりの当事者として参画できる地域社会を目指して活動しています。

主催：青葉区・NPO 法人まちラボ

協力：青葉区連合自治会長会

## 目次

1.はじめに	.....	P. 2
2.第1回 知る 10/7(土)	.....	P. 3 - 4
開講式		
自治会町内会活動の成り立ちや意義を知ろう		
3.第2回 聴く 10/21(土)	.....	P. 5 - 6
事例を聴き運営のコツを学ぼう		
4.第3回 考える 11/11(土)	.....	P. 7 - 8
プランの種を集めて検討しよう		
5.第4回 深める 12/16(土)	.....	P. 9 -10
マイプランのイメージを具体化しよう		
6.第5回 伝える 1/20(土)	.....	P. 11-12
マイプラン発表会・卒業式・交流会		
7.卒業生のマイプラン概要	.....	P. 13-14
8.受講生・発表会参加者からの感想	.....	P. 15-16
9.青葉みらいづくり大学校 2023 を終えて	.....	P. 17-18



### 学長挨拶

青葉区連合自治会長会 会長 関根 宏一



「青葉みらいづくり大学校」は、地域の課題解決や魅力づくりを推進する担い手の発掘・育成を目的として、平成27年度から開講しています。

今年度は、「地域の「困った」を持ち寄ってみんなのアイデアで「イイネ」に変えよう！」をテーマに、各地区連合自治会町内会長の推薦を受けた皆様に参加され、5回の講座を通じて、それぞれの地域の課題やその解決策について熱心に考え、議論していただき、地域の中で取り組みたいことを「マイプラン」としてまとめられました。

今後は、それぞれの「マイプラン」の実現に向け、地域の中で活動を始められます。

地域活動に取り組む仲間が増えることを喜ぶとともに、受講生の皆様が本講座で得た経験を生かし、地域の中で活躍され、共に青葉区・横浜市を盛り上げていく仲間として、今後とも末永く活動されることを楽しみにしています。

### 副学長挨拶

青葉区長 中島 隆雄



「青葉みらいづくり大学校」は、地域活動の担い手の発掘・育成を目指し、地域の皆様と区役所が協働で実施しています。

本講座の運営及び、受講生の推薦等にご協力いただいた青葉区連合自治会長会をはじめとする地域の皆様のお力により、今年度も本講座を開講できたことに感謝いたします。

受講生の皆様が、今後地域で「マイプラン」を実施されることを大いに期待しています。その際には、区役所としても皆様の活動を応援させていただきます。

青葉区は、令和6年に区制30周年を迎えます。今後、10年20年先も青葉区が発展をしていくためには、自治会町内会を中心とした地域の皆様の力が不可欠です。

本講座を、青葉区がこれからも「住みたい・住み続けたいまち」でありつづけるための一助としていただければ幸いです。



青葉みらいづくり大学校 2023 がスタートしました。講座（全5回）を通じて、自治会町内会活動をはじめとした地域の課題を解決するアイデアを出し合い、地域で実践できる「マイプラン」を考えていきます。

## 開講式

青葉みらいづくり大学校 2023 の開講式が行われました。学長である青葉区連合自治会長会の関根会長、副学長の中島区長から、受講生に期待を込めたご挨拶がありました。来賓の各地区連合自治会町内会長の皆様からも受講生を応援するメッセージをいただきました。



関根学長からのご挨拶

## 講義

### 1. 自治会町内会活動のこれまでを知り、これからに生かそう

講師の大越氏（NPO 法人まちラボ代表）から、自治会町内会の成り立ちや、データから見える現状についての講義を行いました。現在の自治会町内会では、加入者の減少や、担い手の不足に対する声があり、その背景として、家族の形の変化、働き方の変化、経済の変化が挙げられ、課題解決へのアプローチとして4つのヒントが示されました。

#### POINT

#### 解決のヒント

- ・暮らしの変化に寄り添う
- ・「加入していて良かった！」を伝える
- ・他の組織と連携する
- ・個人にかかる負担を軽減

### 2. 青葉区を知ろう！ —青葉区区民意識調査から—

地域力推進担当から『令和4年度青葉区区民意識調査』の「地域づくり」「地域活動」に関するデータを紹介しました。



熱心にメモをとる受講生の皆さん



区民の皆さんの  
関心が高いテーマの活動から  
新たな仲間が見つかるかも！

子ども  
高齢者支援

健康  
スポーツ

防犯

花・緑  
環境



## グループワーク

### テーマ：自治会町内会活動で大切にしていきたい取組は？

#### 1. 大切にしたい取組（キーワード）を出そう

自治会町内会活動で大切にしたい取組について意見交換しました。みんなで意見を出し合い、自治会町内会活動で大切にしたいことを整理し、キーワードとしてまとめました。



#### キーワード（一部抜粋）

- 「高齢者の支援」「つながりづくり」
- 「子育て支援」「次世代への継承」
- 「防犯」「情報の伝達」「健康づくり」
- 「環境美化」「多世代交流」

たくさんの  
大切にしたいことや  
課題が挙がりました！



#### 2. キーワードを深掘りしよう！

キーワードの中から、自分の地域で課題になっていること、既に地域で行っている取組、これから取り組みたいことについて具体的に意見を出し合いました。これから取り組みたいことに対しては、他の地域の事例紹介や、取組を行う上でのアドバイスを等活発な情報交換が行われました。

イベントに人が  
集まらなくて・・・



いいアイデア  
ないかな？



STEP UP!



グループワークで活発な意見交換



みんなでキーワードから深掘り！





第2回「事例を聴き運営のコツを学ぼう」では、青葉区や近隣区の3つの活動事例を聞き、成功の秘訣を学び、グループトークでは登壇者を囲んで運営のコツ等を質問しました。

### 事例紹介

## 1. 地域の見守りあいネットワークをつくる ～気づきの和連絡会の取組～

中里北部連合町内会 会長 戸塚昌行さん



昨年度の本大学校卒業生でもある戸塚さんも中心となり立ち上げた、中里北部連合町内会の「気づきの和連絡会」。連合町内会と地域ケアプラザが中心となり、学校、企業等が参加し、誰一人取り残さない地域に向けて、地域への思いや、地域での生活の中で気づいたことの共有をしています。地域で見つけた「ごきげんな話」を投函するための「気づきの和ポスト」を設置し、寄せられた声を集めて広報紙に掲載する取組も始まっています。



気づきの和通信「ごきげん」



子どもを中心に  
多世代循環の  
仕組みづくりが！



詳細はこちら

## 2. 次世代に種を撒く ～子どもからつながる多世代交流の仕掛けづくり～

都筑区北山田町内会 副会長 志村友規子さん

志村さんは、加入者の減少で、子ども会を保護者だけで運営することが難しくなったこと等を契機に、子ども会を支えるボランティア組織「北山田地域ボランティア(キタボラ)」を立ち上げました。今では、子ども会を卒業した中学生も運営に参加しているほか、活動の幅を公園の清掃、夏まつりのお手伝い等にも広がっています。多世代での交流も生まれている「キタボラ」ですが、行事ごとに参加する・しないを含めて参加者の自主性を尊重すること、自分たちが活動を楽しみながらできるよう工夫されています。



## 3. お互いの強みを尊重し、生かす ～町内会 × 学生ボランティアの協働で地域のマップづくり～

あおばコミュニティ・テラス 学生ボランティア  
奥田結菜さん、宮入香穂さん、横井万乃羽さん

学生ボランティアと下市ヶ尾町内会が協働し、ウォーキングマップを作成しました。地域の方が見どころを紹介し、それを学生が動画にまとめて配信する等、お互いの強みを生かした制作が行われました。連絡が取りやすくなるよう、学生がLINEによる情報共有を提案し、導入が進む等、協働による思わぬ効果もありました。地域の方が学生の事情を尊重し、受け入れたこと、学生の意見を積極的に取り入れたことで、お互いに楽しみながら活動でき、その後の関係づくりにもつながりました。



青葉区青少年の地域活動拠点

あおばコミュニティ・テラスとは？



学校でも家庭でもない青少年のサードプレイス・居場所とすることができる場所です。中高生・大学生が、「まちの魅力づくり」や「地域課題の解決」のために主体的に活動しています。地域のボランティア体験や中高生・大学生が自ら企画・運営・実行するプロジェクトも行っています。



詳細はこちら

### グループトーク

## 運営のコツは？ 気になることを質問しよう！

地域ボランティアについて

Q. 活動メンバーはどうやって集めたのですか？

A. 町内会に参加していなくても参加できるようにし、小学校への協力依頼等も行いました。楽しそうにやっていると、自然に仲間が集まってくる感じています。

組織運営について

Q. 町内会運営の中で、意識していることは何ですか？

A. 新たな提案を、「どうしたら実現できるのだろう」と一緒に考え、柔軟に受け入れることで、若い人や学生も参加・提案しやすい雰囲気をつくることを意識しています。

## TALK TIME!



受講生から次々に質問がありました



参加しやすい組織づくりについて考えました



世代を超えてつながる方法を考えました





第3回「マイプランの種を集めて検討しよう」では、地域に点在する様々な資源を確認し、それらと連携、協力するアイデアを引き出すワークに取り組みました。

### 個人ワーク

## 1. 地域の資源を探してみよう！

受講生は、地域でやってみたいことをイメージしながら、自分たちの活動エリアの地図から地域の資源となる場所、活動団体及び行事等を探して付箋に書き出し、地図にマークしました。

**場所**  
自治会町内会館、地区センター、地域ケアプラザ、公園、学校、店舗、公共施設等

**行事・イベント**  
お祭り、スポーツイベント、防災訓練、清掃活動等

**人・団体**  
自治会町内会、地域ケアプラザ、NPO 団体、ボランティア団体、企業等

活動エリアに新たな地域資源を発見！

配布資料を参考にしながら地図にマーク

## 2. プランの種を見つけるためには？

講師の大越氏より、「活動エリアにある地域資源を確認し、どのように生かすか、つながりをつくるか、イメージを膨らませてプランの種を見つけましょう」という説明がありました。地域力推進担当からは、「場所、人・団体の情報」として、地域ケアプラザの地域活動・交流コーディネーターや区民活動支援センターに登録している活動団体等の紹介がありました。



講師の大越氏

地域資源を生かす  
ヒントとして



- ・地域には「一緒にまちづくりに取り組める組織」がある
- ・地域には「社会貢献に意欲的な活動団体」がある
- ・市民利用施設には「地域活動の情報」が豊富にある
- ・NPO 団体やボランティアサークルを知る
- ・使える場所は自治会町内会館だけではない（飲食店や学習塾の空き時間の活用等）

### グループワーク

## 1. 資源を生かしたアイデアを話そう！

グループワークでは、2つのグループに分かれて話し合いました。それぞれの地域課題を共有し、課題にアプローチするために必要な資源は何なのか考えました。そして、既に行われている地域の取組や、地域の資源をどのように活用するかについてアイデアを出し合いました。



グループワークで熱心に話し合う受講生

#### グループワークで出た地域の課題

- ・若い世代に担い手になってもらうためには、どのようにアプローチしたら良いかわからない
- ・子ども会は役員になる親の負担が大きい
- ・地域の施設とあまり連携がとれていない
- ・商店街に人が集まらない
- ・コロナ禍で地域住民同士の直接の関わりが減ってしまったが取り戻していきたい

#### 地域の取組とアイデア

- ・おやじの会の活動が活発に行われている
- ・地域ケアプラザと連携して高齢者向けのイベントを開催している
- ・子ども向けのイベントは自治会町内会の「福祉児童部」で行っている
- ・単独でイベントを開催するのは大変なので、地域の施設と合同開催すると良い
- ・高齢者同士の情報交換の掲示板を作ると良い
- ・高齢者の見守りは地域全体で相互に関わりあうことが必要

## 2. 事業化に向けた準備をしよう！

グループワークで出た課題とアイデアをベースに、地域でやってみたいことを話し合いました。「地域ケアプラザと連携した取組」、「地域のお祭りに企画から若い世代に関わってもらう」、「高齢者にやさしい商店街をつくる」、「郵便局の掲示板を利用した地域情報の発信」等の意見が出され、取り組みたい事業について考えました。





第4回「マイプランのイメージを具体化しよう」では、取り組みたい事業をイメージし、具体的に考えていきました。プランについて意見交換をしながらマイプランの構想を深めていきました。

### プラン準備のワーク

#### マイプラン準備シートを使ってイメージしよう！

「マイプラン準備シート」を使って、取り組みたい事業を検討しました。取り組みたいこと、事業の骨組み、対象とする世代、実施時期、連携したい組織・団体、開催場所、予算、取り組みたい理由等を具体的に考えていきました。



講師から説明を受けプランをイメージする受講生

**マイプラン準備シート**  
検討する項目別に参考イメージを記載

取り組みたいこと		
子育て支援	高齢者支援	美化環境整備
交流・つながりづくり	情報発信	担い手づくり
(自由記入)		

### プラン作成のワーク

#### マイプランシートをつくろう！

「マイプラン準備シート」やアドバイスを参考にしながら、「マイプランシート」を作成しました。「イベントでの交流と地域の資源との連携」、「支援の仕組みづくり」、「多世代の学びの場づくり」、「商店会と自治会の連携」等の多様なプランが出されました。

青葉みらいづくり大学校 2023 マイプラン

氏名	
プラン名	親子で公園に親しみながら世代間交流
地域	公園清掃・バームクーヘンづくり体験・試食会
連合名	自治会町内会名
このプランに取り組む理由	公園清掃の参加者が少なくなってきたため、清掃とイベントを同時に開催することで参加者を増やしたい。自分たちの家族だけでなく、地域の方々の交流の場にしたい。
プラン内容	・参加者全員で公園清掃 ・バームクーヘンづくりの準備 ・バームクーヘンづくりの体験 ・試食会 ・後片付け
プラン実施の連携予定先	連携予定先の具体名称・連携のイメージ
<input checked="" type="checkbox"/> 自治会町内会	主催
<input checked="" type="checkbox"/> 地域の団体・組織	公園愛護会・地区社協・子ども会・青少年指導員
<input checked="" type="checkbox"/> 個人・ボランティア	地区の有志・ボランティアを募る
<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関(区役所・警察署・消防等)	土木事務所・地域振興課・消防署
<input type="checkbox"/> その他	
プラン実施に必要なもの	具体的なイメージ
<input checked="" type="checkbox"/> 会場・活動場所・地域	地域の公園
<input checked="" type="checkbox"/> 活動資金	自治会費・補助金を活用してドラム缶購入
<input type="checkbox"/> その他	



いよいよマイプランを作成します！

### グループ共有

#### マイプランの種をシェアしよう！

現時点で考えているマイプランの種をグループ内で発表しました。「独居高齢者をみんなで支える仕組みづくり」、「小中学生の学習支援の場づくり」、「学生とつくるお花見イベント企画」等のプランが出され、それぞれのプランについて感想の共有やアドバイス・意見交換を行いました。



プランの種を発表して共有しました

プランの感想の共有や意見交換を通じて、より良いアイデアが湧き出てきました

#### マイプランシートの記入例



#### 個別相談会

希望された方を対象に個別相談会を開催しました。受講生は、マイプランの作成を進める中で気になっている点を相談し、アドバイスを参考に、発表に向けてプランを練り上げていきました。



日時：12月25日(月) 10:30~12:00 会場：青葉区区民活動支援センター





「青葉みらいづくり大学校 2023」の最終回では、第1部でマイプラン発表会・卒業式、また、第2部で受講生と地域の皆様との交流会を行いました。

第1部 **マイプラン発表会**

**マイプランを伝えよう！**

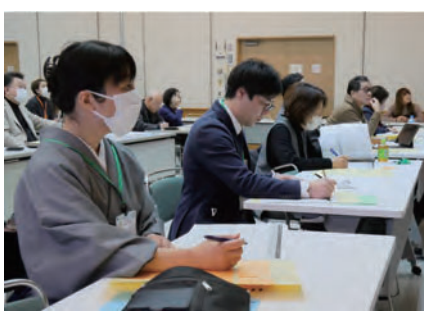
各地区連合自治会町内会長や区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、地区センター等の方々をお迎えして、マイプラン発表を行いました。受講生からマイプランを企画した理由と実施内容、そしてプランを実現してこんな地域にしていきたいという思いを込めた発表が続きました。会場からは質問や感想、あたたかい応援メッセージをいただきました。4か月間の講座の中から生まれたマイプランは、これからそれぞれの地域で実現へ向けて動き出します。



地域への思いを込めたマイプランを発表



マイプランへのアドバイスやたくさんの応援メッセージをいただきました



仲間の発表を見守る受講生

**卒業式**

発表会の後、卒業式を行いました。関根学長からは、受講生それぞれの視点を生かし、地域と連携して新たな地域活動の一步を踏み出して欲しいとエールがありました。中島副学長からは、区役所も引き続き、受講生の活動を応援していきますとメッセージがありました。



関根学長



中島副学長

第2部 **交流会**

**実施にむけて地域とつながろう！**

第2部では、受講生と活動エリアの近い地域の皆様が同じグループになり、マイプランについての感想やアドバイスをいただくとともに、意見や情報交換を行い交流を深めました。各グループでは、マイプランを地域で実施する際の工夫や、施設とのつながり方等、新たな視点からのアイデアがありました。



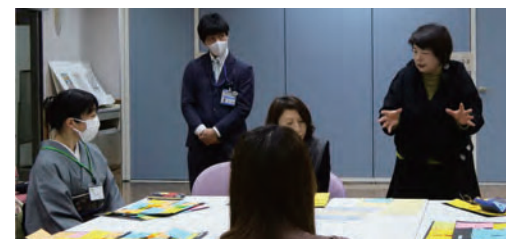
**シェアタイム**

**講座を終えて・・・**

受講生は、発表をお聞きいただいた地域の皆様からの「応援メッセージ」を読み、励ましの言葉や、連携・協力の提案に心強い後押しを感じられたようで、皆さんに笑顔が見られました。最後に、全講座を振り返り、受講生一人ひとりが感想を共有しました。受講を通して、受講前より地域を知り、地域での活動のコツを学んだ充実感と、地域でのマイプラン実現に向けて前進する意欲等が語られました。皆さんのマイプランの実現を楽しみにしています。



それぞれの応援メッセージを読む受講生



講座を振り返り感想をシェアしました





「青葉みらいづくり大学校 2023」を受講された皆さんが、地域の課題に向き合い地域への思いを形にするマイプランを作成しました。地域の特性に注目し、他地区の事例紹介や受講生同士の意見、情報交換等を通して学び、生まれたマイプランは、地域の人に関わることで実現の可能性が高まる「地域での協働」をイメージしたものとなりました。



### 地域の文化ハブとしての、自治会と連携した商店街作り ～趣味と健康をテーマにした商店会コアの整備～

商店会と自治会が連携し、商店会の中に、住民の交流と健康づくり、生きがいづくりにつながるような気軽に立ち寄れる場をつくりたいです。地域の他の商店会や団体とも協働して、居住者の孤立化を防ぎ、商店会を中心とした地域の活性化に新たな活路を見出したいと思います。



市ヶ尾連合自治会 原口さん

### さくら祭り

～花見・出店・公園愛護会や防災の声掛け～

「さくら祭り」を開催し、自治会町内会活動になじみのない住民に「自治会に加入するのも良いな」と感じてもらえる機会を生み出したいです。自治会員からボランティアを募集し、自治会は「皆のもの、皆で楽しむもの、皆で作上げていくもの」と感じられる多世代交流の場としたいと思います。



奈良町連合自治会 石橋さん

### 来て見て楽しい郵便局

小学校や地域ケアプラザ、高齢者福祉施設等と連携し、地域にまつわるクイズを作成してもらい、局内に掲示し、来局した希望者にもクイズを作成してもらうなど、クイズを通して地域との繋がりを醸成していきたいです。住民の方が地域の魅力を知るきっかけとなる楽しいスポットとなり、地域の交流や、賑わいの拠点になればと期待しています。



山内連合自治会 中尾さん

### すすきのさんち ～つながり de 健康づくり～

健康づくりには、運動と栄養、そして「つながり」が大切だと言われていますが、「つながり」を作ることはひとりではできません。様々な企画と参加者同士が自然な形で交流できるような「つながりタイム」の時間を設け、身近な場所で地域の方々が出会いコミュニティカフェのような役割を果たす「すすきのさんち」の開設を目指します。



すすき野連合自治会 佐藤さん

### 世代をこえた寺子屋 ～LINE・Instagram等のアプリ教室～

スマホが得意ではない方や興味がある方向けに、デジタルツールに慣れ親しむための教室を開催したいと思います。講師は地域の中高生を中心にボランティアを募り、どのような知識が必要か、得意ではない方は何を求めているか等、講座の内容を一緒に考え工夫しながら進めていきたいです。ご年配の方々と学生が双方に教えたり、教わったりできるような多世代交流の場にしていきたいです。



恩田連合自治会 新野さん

### あなたはもう「一人っきり」じゃない ～マンション内独居高齢者対策を中心として～

私が住んでいるマンションでは入居から27年が経過し、高齢者世帯が増えているため、多世代が参加できる衣食住や防災に関するイベント等を、居住者自ら定期開催し交流の機会を創出したいと思います。参画した子どもたちには「将来の担い手」となってもらえるような仕組みづくりを目指していきたいです。



青葉台連合自治会 林さん

### 禅当寺自治会50周年記念 皆で作上げる花見の会

先人たちのまちづくりの思いを次世代につなぐことを目指し、花見の会を「多世代が楽しめる参加型のイベント」にリニューアルしたいと思います。若い世代が地域や自治会活動に関心が持てるよう、中高大学生がブースの運営をしたり、当日のボランティアを行う等、このイベントが顔の見える関係づくりを構築する場となるような仕組みづくりをしていきたいです。



中里連合自治会 平野さん





自治会加入者が減少する中、本日の取組は大切だと思いました。特に多世代交流は重要であり、新しい声掛けに期待しています。

コロナ禍を経験したことで、人とのつながりが疎遠になった方も多いと聞きます。健康づくりを含めたつながりの場所を作れば、つながりもより深められ、楽しんで継続できるプランになると思います。そこから様々なイベントにもつながっていくと思います。



規模の大小ではなく、つながることの大切さを改めて気付かされました。自分の地域でも見直していこうと思います。



自治会を生かす、皆のものとして活動するのは素晴らしいです。自治会員であることのメリットを明確にするのも重要だと思います。自治会として活動することが楽しいと思える地域の方をうらやましく思います。

イベントは時代にあわせて変える必要があります。新しい人に入ってもらい、皆が楽しめる参加型になれば素晴らしいです。



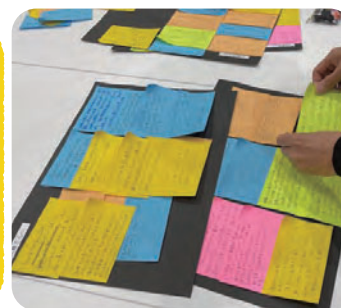
自治会をもっと身近に感じてもらうために、役員だけでなく自分たちで作るイベントを立ち上げることは、とても良い方法だと思います。備蓄品等、今あるものをうまく活用するというのも、良いアイデアだと思います。さくら祭りが楽しく開催されることを楽しみにしています。

誰も取り残されることのないまちづくりを目指そうという強い意思が伝わってきました。

地域や施設とつながりを深め、知ってもらうことで次につながると思います。



高齢化が社会課題になっており、まさにマイプランにあるような取組がこれから必要になっていくと思います。一人暮らしの高齢の方への食事の支援や、地区センターの料理教室等を利用して、男性のための料理教室等を開催してもいいですね。応援しています。



商店会の活性化と地域の活性化は、ともにつながります。マイプランを実現させるため、ぜひ自治会や施設と連携して発展させてほしいと思います。

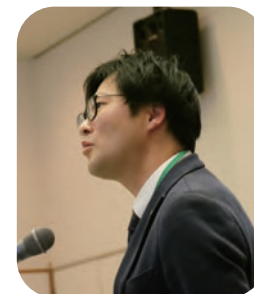


地域コミュニティのイベントは仲間づくりだけでなく、次世代への継承の場との認識が素晴らしいです。伝統を大切にしながら、時代に合わせて少しずつ新しいものを取り入れることは大切だと思います。

大人になると中高生と話す機会はめったにありません。世代をこえた寺子屋は、人と人とのつながりの場であり、また世代間で双方に得意なことを教え合え、ご年配の方達への手助けにもなるとても良いプランだと思います。



健康づくりで地域住民のつながりをつくることは高齢化社会においても重要なことであると思います。継続してください。



地域の中にある郵便局が地域とつながるきっかけとしてクイズから入るのは、とても良いアイデアだと思います。これをきっかけに、地域と郵便局がさらに密接につながっていくことを期待しています。

SNS を使って何を知らせていくか、ほかの自治会の様々な取組も学んでいきたいと思いました。



自分の地域のエリアのエンジンになっていく決意が素晴らしいと思います。異なるセグメントとのつながりのアイデアも素晴らしいです。



プランの名前が面白い。すぐに何を目的にしているかイメージできます。それぞれのプランとも実施の可能性が高い。食と防災を基本軸に世代間交流に焦点を当てたこと、生活の中の困っていることが反映できていると感じます。活動資金も具体的でとても良いと思います。







## 受講生の声



学ぶきっかけになり  
良い仲間との  
出会いもあって  
良かった



1人だと  
考えつかないことを  
知ることができた

地域の人達と  
一緒に盛り上げたい  
という思いが  
強くなった



受講して  
良かった！



これから実践で  
今回の経験を  
生かしたい



色々な方の考えを  
聞き自分の考えも  
膨らんだ

## 講師より

地域の中で「担い手不足」が課題として挙げられる中、今年度は、どうしたら地域活動に関心を持ってもらえるのかということを考えながら講座を企画しました。

受講生の皆さんは、講座を通して、工夫して地域活動を行っている他地区の事例を学ぶとともに、受講生同士での意見や情報交換、地域資源の再確認などをし、自分たちの地域や地域活動への理解を深めていきました。

受講生が試行錯誤を重ね作成した「マイプラン」は、地域をより良くしたいという思いが詰まったものになっています。地域の課題は簡単に解決できるものではありませんが、地域の今をまっすぐに見つめたその先に新たな景色が見えるのだと、受講生の笑顔から教えていただきました。

「青葉みらいづくり大学校 2023」に関わってくださったすべての方に感謝いたします。

NPO 法人まちラボ 代表理事 大越 雅美

【講師プロフィール】 NPO 法人まちラボ 代表理事 大越 雅美

子育てサークル活動、PTA 活動、地域のボランティア活動に携わる。その後、横浜市都筑区にて地域元気推進員・区民活動センター相談員・社会教育指導員として13年間にわたり地域活動・市民活動支援業務に従事。2021年退職し、仲間とNPO 法人まちラボを設立。地域活動・市民活動支援の経験を生かして、「市民の社会参画をコーディネートする活動」に取り組む。



～青葉みらいづくり大学校 2023 卒業式～